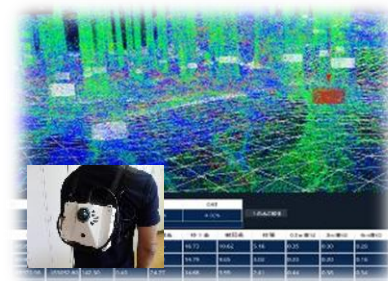


New Forestry of YAMAGUCHI



— 山口の新しい林業 2025 —



目次

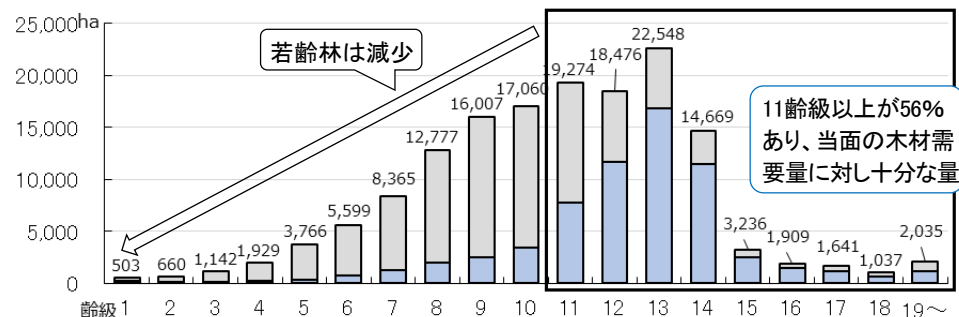
■やまぐちの森林・林業の現状	3
■New Forestry of YAMAGUCHI 推進の3つの柱	4
□本県林業の未来を切り拓く人材・事業体の確保・育成	5
①林業の新たな担い手確保強化事業	
②やまぐち森林・林業未来維新カレッジ推進事業	
□事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現	7
①「やまぐちフォレストJV」構築支援事業	
②やまぐちの林業DX推進事業【AI】	
③エリートツリーコンテナ苗安定供給体制整備事業	
□“情報”と“資源”の活用による多様なマッチングの促進	10
①森林経営管理推進総合対策事業【クラウド】	
②森林Jクレジット活用推進事業	
■次代を担う子ども等への森林・林業に対する理解促進	12
①2050年の森森林・林業体験学習館等整備事業	
②2050年の森集客促進事業	
■やまぐち竹資源循環利用促進事業	14
■「やまぐち森林づくり県民税」第5期対策	16

やまぐちの森林・林業の現状

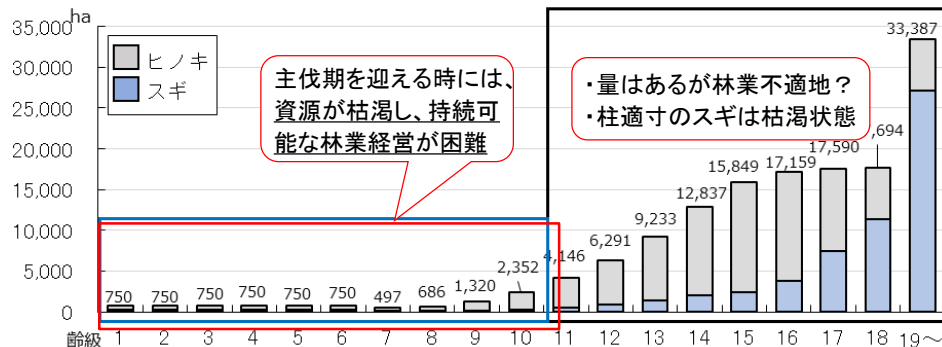
～3つの危機からの脱却～

1 森林資源の危機

現状（令和5年度末）

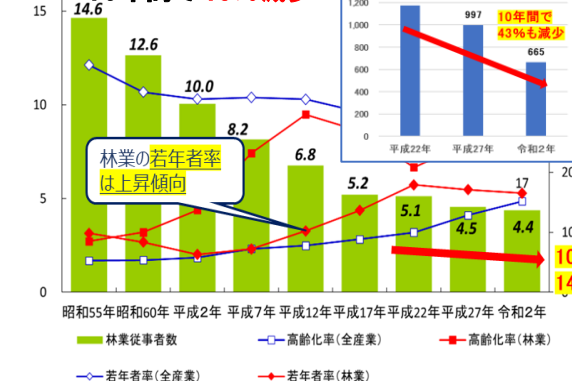


直近5年平均の造林面積（150ha/年）で推移した場合の30年後の姿



2 林業事業体の危機

本県の従事者数は10年間で43%減少



全産業と林業従事者の年間平均給与

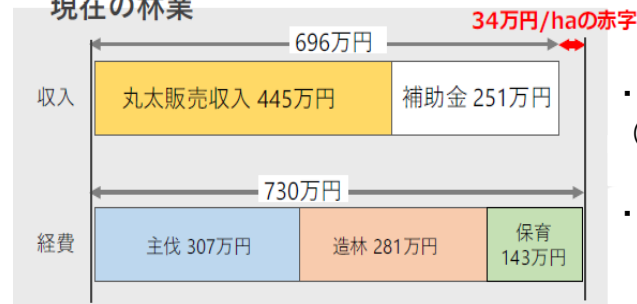
○全産業：458万円
○林業：361万円
その差：▲97万円
※民間給与実態調査（R4）

災害発生率は全産業の約10倍

死傷千人率（R5年）
○全産業：2.4
○林業：22.8
その差：約10倍
※厚生労働省「業種別死傷年千人率」

3 林業経営の危機

現在の林業



・主伐から再造林、保育まで（50年）の経営収支は▲34万円

・森林所有者の再造林意欲は低下

「山口の新しい林業」に向けて

◇ 本県森林資源の継続的な活用と、森林経営にかかわる者の収益向上が両立できる持続的な林業を目指す、「山口の新しい林業」に向けた取組を推進する。

1 本県林業の未来を切り拓く人材・事業体の確保・育成

- ◇移住就業の促進や新たな研修体系の構築
- ◇林業への新規参入・起業等による林業従事者の裾野の拡大
- ◇中小・零細規模事業体の経営展開・事業拡大の後押し

林業労働力の確保
経営力の強化

2 事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現

- ◇主伐と再造林の一貫作業と収益向上を目指す経営モデルの推進
- ◇デジタル技術を活用した作業システムの高度化
- ◇所得向上や労働安全対策強化等の労働環境の改善・向上

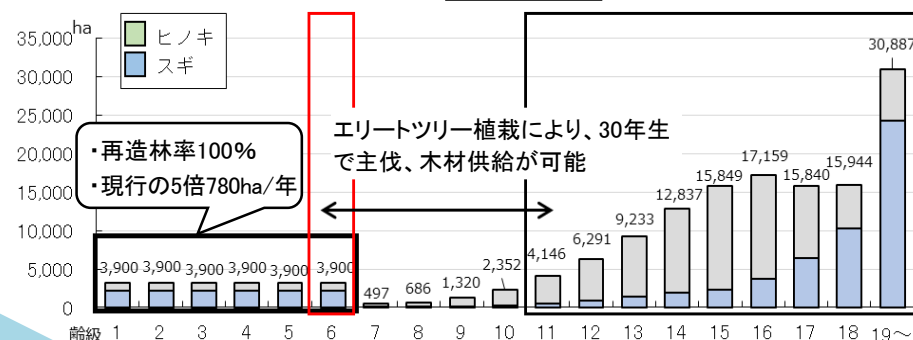
構造的収益の拡大
再造林の促進

3 “情報”と“資源”の活用による多様な森林経営の促進

- ◇森林資源情報のオープン化と関係者間の森林経営マッチングの促進
- ◇森林経営の付加価値化による企業等第三者による森林整備への参入

施業面積の拡大
多主体の参入促進

再造林の取組を加速化した場合の30年後の姿



新しい林業（目指す姿）



本県林業の未来を切り拓く人材・事業体の確保・育成

①林業の新たな担い手確保強化事業（R7：45,215千円）

【ポイント！】無料職業紹介事業の強化により、求職者と求人者のマッチングを促進するとともに、林業担い手確保・育成支援センターにおいて、林業事業者の事業規模拡大支援や副業等、多様な働き手の参画を促進



【事業概要】

▽ 無料職業紹介事業の強化

- ・ 就業者への相談体制の整備
 - ・ 「やまぐち森の仕事ナビ」を活用した広報やオンライン就業相談の実施
- [実施主体] 県（10/10）



▽ 担い手確保・育成支援センターの活用促進

- ・ 支援員による技術指導や施工区域測量機器等を活用した現場作業の効率化支援
- （県内6箇所）
[実施主体] 県（10/10）



▽ 林業就業者の定着対策

- ・ 就業者の定着に向けた給付制度
〔短期育成塾受講生への給付金支給〕
（125千円/月×5か月）
[実施主体] 県（10/10）
〔新規就業者雇用法法人への支援〕
就業者のOJT研修に対し、国支援に加え
県独自の支援（120万円/年×3年）
[実施主体] 県
[負担割合] 国10/10、県10/10
- ・ 林業労働災害防止に向けた巡回指導や予防講習会の実施
[実施主体] 県（10/10）



本県林業の未来を切り拓く人材・事業体の確保・育成

②やまぐち森林・林業未来維新カレッジ推進事業（R7：59,740千円）

【ポイント！】農林業の知と技の拠点を核とした新たな研修体系「**やまぐち森林・林業未来維新カレッジ**」(6コース50講座)を構築し、本県林業の未来を切り拓く人材と林業事業体の確保・育成を促進

【事業概要】

- ▽ **トライコース** 《オープンカレッジ等》
 - ・ 多様な人材への啓発・掘り起こし
- ▽ **即戦力人材育成コース**
 - 《即戦力短期育成塾等》
 - ・ 高性能林業機械の操作方法など基本技術の習得とステップアップを後押し
- ▽ **プロフェッショナルコース**
 - 《高度林業技術者育成研修等》
 - ・ 14の技能講習等による技術者の育成
- ▽ **次世代人材育成コース**
 - 《林業DX研修等》
 - ・ 持続可能な林業を目指す次世代のリーダー候補の育成

- ▽ **経営力向上コース** 《経営戦略研修等》
 - ・ 経営力を高め、働きやすい職場づくりを目指す経営者を支援
 - ▽ **起業・副業・リスキリングコース**
 - 《異業種参入実践研修等》
 - ・ 建設業者等による第二創業支援や農業就業者等の副業による新規参入を促進
- [実施主体] 県 [負担割合] 県10/10



事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現

①やまぐちフォレストJV構築支援事業（R7：15,000千円）

【ポイント！】本県林業の振興を図るため、主伐から再造林までの一貫作業化や森林資源の有効活用の拡大により**構造的な収益向上**を目指す、新たな林業経営モデル「やまぐちフォレストJV」の構築を促進

【事業概要】

▽ 推進協議会の運営

〔フォレストJV推進協議会〕

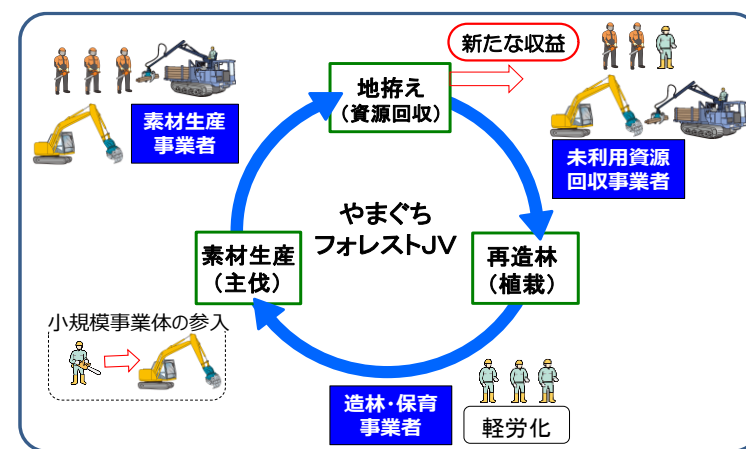
- ・森林所有者等に対する森林経営への意識の喚起や地域推進協議会の取組のサポート
- 〔地域推進協議会〕
- ・地域での連携に向けたマッチングや技術指導等の伴走支援

▽ 新たな林業経営モデルの構築支援

- ・林業事業体の連携に向けた実践活動への支援

〔実施主体〕 県（10/10）

【事業イメージ】



林業振興

- ・収益向上と森林所有者への利益還元
- ・計画的な事業地の確保
- ・雇用拡大

森林資源の確保

- ・森林サイクルの好循環
- ・林業の持続性の確保
- ・CO₂吸収源対策への貢献

〈「やまぐちフォレストJV」とは〉

複数の事業者が主伐から再造林までを連携しながら一貫して施業するとともに、これまで活用されなかった伐採後に残る枝葉等の森林資源を有効活用し、林業の構造的な収益向上を目指す新たな経営モデル

事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現

②やまぐちの林業DX推進事業【A1】（R7：33,664千円）

【ポイント】県産木材の供給量の拡大を図るため、AI技術を活用し、**施業計画の自動作成**や**最適な雇用・機械導入計画の提案**等により、林業事業体の**経営戦略の推進**を支援

【事業概要】

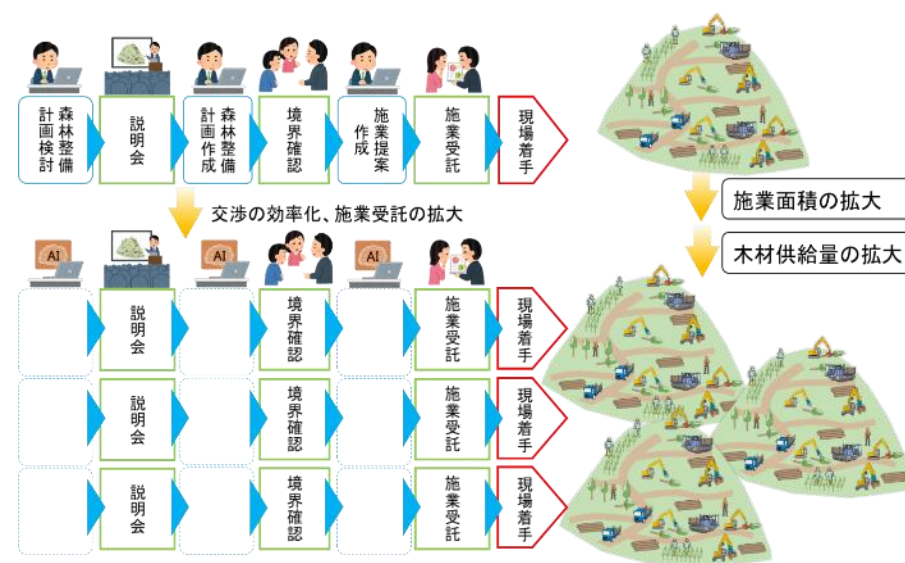
▽ 施業計画作成自動化等システムの開発

- ・研究機関や民間企業等を構成員とする林業DX推進協議会の運営
- ・詳細設計及び開発による実装
[実施主体] 県（10/10）

<主な機能>

- ・施業計画作成の自動化 → 交渉の効率化、施業地の拡大
- ・施業地の生育シミュレーション → 森林資産価値の可視化
- ・中長期雇用計画の作成 → 人材の計画的な採用・育成
- ・機械導入計画作成 → 最適な設備投資

【事業イメージ】



事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現

③エリートツリーコンテナ苗安定供給体制整備事業（R7：2,000千円）

【ポイント】造林コストの低減と作業の省力化・効率化を実現できる「エリートツリーコンテナ苗」の新たな生産技術と安定供給体制の確立・定着を図り、主伐後の再造林率を向上

【事業概要】

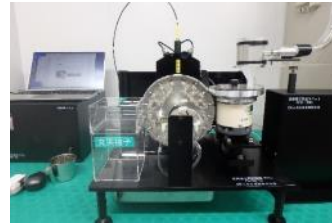
▽発芽能力の高い種子の供給

▽エリートツリーコンテナ苗の新たな生産技術の確立と普及

- ・発芽能力の高い種子を活用したコンテナ苗の短期露地栽培技術の実践・実証
（育苗期間2年 ⇒ 1年）
 - ・マニュアルの作成
 - ・新たな生産技術の速やかな普及・定着を図る研修会の開催 等
- [実施主体] 県

【事業イメージ】

充実種子選別装置



「充実種子選別装置」により発芽能力の高い種子を選別・供給

育苗期間の短縮を図る新技術の確立と普及



- ・育苗期間の短縮を図る新技術の確立に向けた調査・分析等
- ・苗木生産者への技術定着を図る研修会の開催等

コスト低減による造林費用の抑制と収穫期間の短縮

再造林率の向上

“情報”と“資源”の活用による多様なマッチングの促進

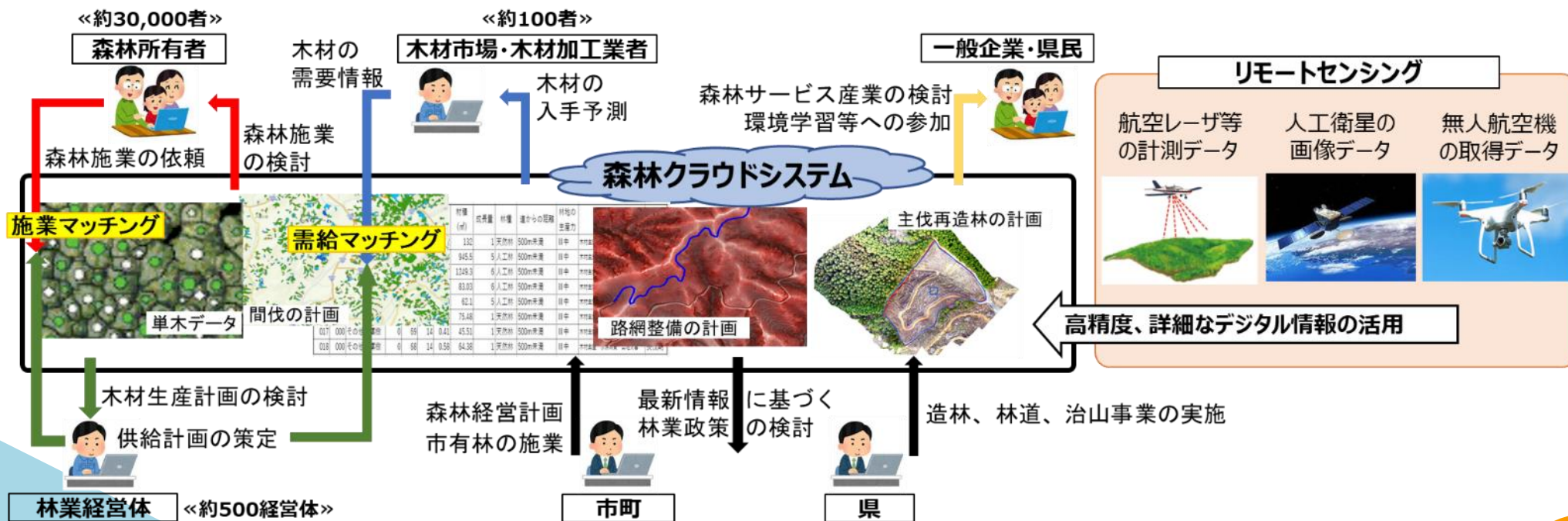
①森林経営管理推進総合対策事業【クラウド】（R7：98,177千円）

【ポイント】航空レーザ計測等の高精度ビッグデータの高度利用により、**林業事業体－森林所有者、林業事業体－木材事業者間の需給マッチング**等を促進し、**森林経営・木材流通を拡大**

● 森林クラウドシステムの開発

《現行の森林GISシステムからの移行》

- ・システムの開発
- ・オープンデータ化の推進
- ・共同運用に向けた市町、林業事業体との合意形成



“情報”と“資源”の活用による多様なマッチングの促進

②森林Jクレジット活用推進事業（R7：9,000千円）

【ポイント】森林Jクレジットの創出を支援し、森林所有者等による主体的な取組モデルの構築を図るとともに、さらなる普及啓発に取り組み、Jクレジット制度を活用した適切な森林整備とCO2吸収源対策を推進

【事業概要】

▽ 森林Jクレジット創出支援補助金の活用

- ・プロジェクト計画書の作成支援

[実施主体] 森林所有者等

[補助額] 森林経営活動 4,000円/ha
再造林活動 62,000円/ha

[補助率] 1/2

- ・CO2吸収量の算定支援

[実施主体] プロジェクトの登録承認を受けた者

[補助額] 航空レーザ計測 1,100円/ha
地上計測 28,000円/箇所

[補助率] 1/2

▽ 県域への普及啓発

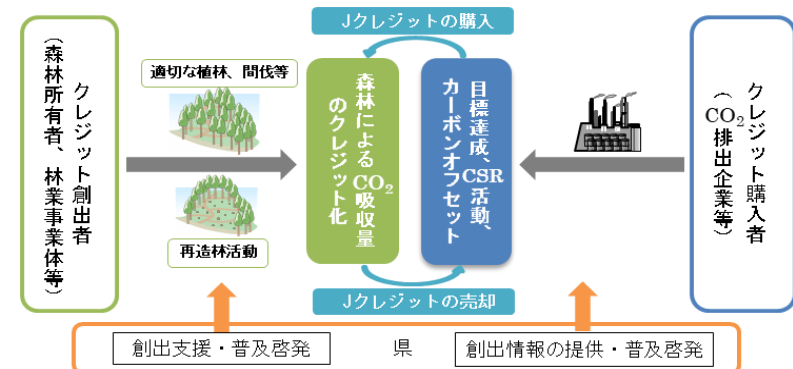
- ・創出者向け、購入者向けの利用促進セミナーの開催

[実施主体] 県（10/10）

- ・県内の取組事例集の作成

[実施主体] 県（10/10）

〈森林Jクレジットのイメージ〉



次代を担う子ども等への森林・林業に対する理解促進

①2050年の森森林・林業体験学習館等整備事業（R7：330,181千円）

【ポイント】「山口きらら博記念公園みらいビジョン」の実現に向け、2050年の森が幅広い世代の県民が集い、交流し、県民の活力を創出・発信する拠点となるよう、再整備を推進

【事業概要】

- ▽ **植栽や遊歩道整備による森の魅力向上**
 - ・ 四季の彩りを感じられる多様な樹種の植栽
 - ・ 森林内の回遊性を高め、誰もが散策できる遊歩道の整備
- ▽ **キャノピーウォークの整備**
 - ・ 森林を新たな視点で観察できる施設接続型のキャノピーウォーク（森の中の空中歩道）の整備

【実施主体】 山口県

【整備イメージ】



キャノピーウォーク



森のイメージ



遊歩道

次代を担う子ども等への森林・林業に対する理解促進

②2050年の森集客促進事業（R7：38,994千円）

【ポイント】「2050年の森」の植栽や遊歩道整備による森の魅力向上と併せて、森林の機能等を遊びながら学べるアプリを制作し、さらなる交流と集客の促進

【事業概要】

主なコンテンツ

▽ 森林・林業に関する学習の促進

- ・クイズやAR動画等を活用した森林・林業の学習
- ・デジタルキャラクター（森の妖精）による樹種の特性や森林機能の紹介

▽ 集客と森林内の回遊性の促進

- ・成長やストーリー的要素を持つコンテンツの活用
- ・森林の魅力を感じる散策ルートの作成・提案

▽ デジタルイベントの実施

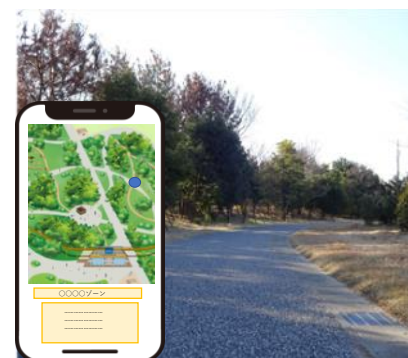
- ・森林内での宝探しなど、来園者みんなで遊べるアプリを活用したイベントの実施

【実施主体】 県（10/10）

【事業イメージ】



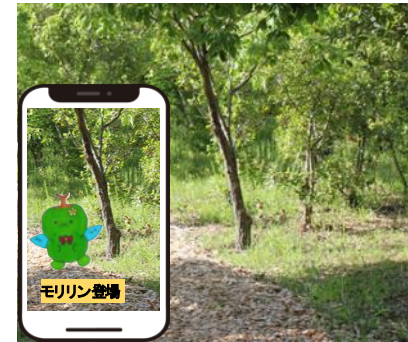
森林・林業に関する紹介や学習



散策ルートの提案・作成



AR動画による学習



デジタルキャラクターの出現

竹といったら山口県の実現を目指して！

①やまぐち竹資源循環利用促進事業（R7：92,905千円）

事業のポイント

放置竹林を管理竹林に導く本県独自の竹林経営計画制度の構築や、効果的な需給マッチングの仕組みづくりにより、地域資源である竹の有効活用を促進し、森林環境の保全と竹産業の振興を目指します。

【事業概要】

▽「やまぐち竹林経営計画制度」の構築

- ・ 竹林経営のルールや基準等を定めた基本方針の策定
- ・ 適切な竹林経営ができる竹材生産者（竹林経営マスター）の育成

[実施主体] 県（10/10）



適切に管理された竹林



竹材生産者の育成

【事業イメージ】



竹といったら山口県の実現を目指して！

①やまぐち竹資源循環利用促進事業（R7：92,905千円）

【事業概要】

▽ 効果的な需給マッチングの仕組みづくり

- ・ 新たな竹材流通拠点の整備
「竹市場^{いちば}」の開設と「竹クラウド（竹資源情報提供システム）」の開発
[実施主体] 県（10/10）
- ・ 適正竹林経営促進補助金の創設
竹市場への竹材搬入に係る運搬費等の支援
[実施主体] 竹材生産者等
[補助額] 3,000円/t（定額）
- ・ 伐採や搬出の生産性向上に向けた実証研究
[実施主体] 県（10/10）

▽ 県民税事業地の竹材の有効活用に向けた集積等の試行《県民税事業で実施》

▽ 竹材生産や加工施設等の整備支援

- ・ 竹材利活用に向けた施設や機器導入等の支援
[実施主体] 竹材生産者等
[補助率] 1/2

▽ やまぐちの竹のブランド化の推進

- ・ 県産竹材の魅力の情報発信や企業間交流の促進等による付加価値向上の取組
[実施主体] 県（10/10）



竹材流通の拠点（イメージ）



企業間交流の促進

1 制度概要

実施期間	令和7年度～令和11年度(5年間)
課税対象	【個人】県内に住所がある方 県内に事務所、事業所または家屋敷を持っている方 【法人】県内に事務所、事業所を持っている法人等
税 額	県民税均等割額に一定額を上乗せする超過課税 【個人】年額500円 【法人】年額1,000円～40,000円(県民税均等割額の5%相当)

2 取組内容

森林の活力再生に向け、荒廃森林の整備や繁茂竹林の伐採の継続、多様な主体による里山等の整備を推進するとともに、県民が森林と関わり合う仕組みづくりや情報発信に取り組む。

ハード対策

【第4期(現行)対策】

森林機能回復事業

奥山等の荒廃したスギ・ヒノキ人工林の強度間伐

繁茂竹林整備事業

繁茂・拡大した竹林の伐採

地域が育む豊かな森林づくり推進事業

地域課題の解決に向けた森林整備

県民参加の森林づくり推進事業

県民税事業の普及啓発

地域森林づくり活動強化対策事業

ボランティア団体等の指導者の養成や森林づくり活動を支援

ソフト対策

【第5期対策】

新 森林活力再生事業

- 森林機能回復事業
整備目標面積の拡大 2,000ha ⇒ 2,050ha【410ha/年】
- 繁茂竹林整備事業
整備目標面積の拡大 350ha ⇒ 375ha【75ha/年】
- 里山等整備支援事業
多様な実施主体の取組を促進する里山等の整備支援
令和7年度予算額:411,037千円

(廃止)

新 参加しましょう！森林づくり推進事業

- 多様な媒体を活用した情報発信
県下各地で開催されるイベントやSNS、動画等を活用した普及啓発
- 森林づくり活動人材の確保・育成
地域でのボランティアミーティングや研修による人材の掘り起こし、育成
- 里山活動団体の強化
複数の活動団体が行う森林づくり活動等の活性化に向けた取組支援

令和7年度予算額:21,841千円

◆ やまぐち森林づくり県民税事業 1 / 2 (432,878千円)

事業のポイント

荒廃森林や繁茂竹林を整備するとともに、県民参加による森林づくりを促進することにより、森林の公益的機能の持続的な発揮を図ります。

新 森林活力再生事業 (411,037千円)

【事業概要】

▽ 森林機能回復事業

- ・ 荒廃したスギ・ヒノキ人工林の強度間伐
- [実施主体] 森林所有者等
- [負担割合] 県 (10/10)



事業実施後

▽ 繁茂竹林整備事業

- ・ 繁茂竹林の伐採(全伐)及び再生竹の除去、広葉樹の植栽、傾斜部等の伐採竹搬出
- [実施主体] 県 (10/10)



事業実施後

▽ 里山等整備支援事業

- ・ 集落周辺の荒廃森林の再生の取組を支援
- [実施主体] 団体、市町等
- [負担割合] 県 (10/10)



事業実施前



事業実施後

◆ やまぐち森林づくり県民税事業 2 / 2 (432,878千円)

新 参加しましょう！森林づくり推進事業 (21,841千円)

【事業概要】

▽ イベントや多様な媒体を活用した情報の発信

- ・ 県下各地で開催されるイベントやSNS、動画等を活用した普及啓発
- [実施主体] 県 (10/10)



▽ 森林づくり活動人材の確保・育成

- ・ 森林づくり活動スタートアップ研修の実施
- ・ 地域ボランティアミーティング等による人材の掘り起こし
- ・ 新規森林づくり活動人材と活動団体とのマッチング促進

[実施主体] 県 (10/10)



▽ 里山活動団体の強化や地域の核団体の育成支援

- ・ 地域の実情に応じた新たな森林づくり活動や森林環境教育の促進
- ・ 複数活動団体が行う森林づくり活動の活性化等に向けた取組の促進
- ・ 地域で行う広域連携団体の育成

[実施主体] 里山活動団体等

[補助額] 300～2,000千円

[負担割合] 県 (10/10)



New Forestry of YAMAGUCHI の推進

－ 再造林なくして、森林・林業の継続なし －